

国際ロータリー第2680地区

2023-24年度 第6回 戦略計画委員会 議事録

日時 : 2024年1月18日(木) 16:00~18:00

場所 : 神戸ポートピアホテル本館4階 パールの間

参加者 : 安行英文ガバナー(三田)、矢坂誠徳ガバナーエレクト(神戸西)、山口宰次期代表幹事(神戸西)、天羽公夫クラブ管理運営委員会(甲子園)、高瀬英夫委員長(西脇)、矢野宗司副委員長(加古川中央)、神谷誠治(尼崎中)、永瀬隆一(芦屋川)、竹原善記(宝塚)、古川彰治(宝塚)、篠倉庸良(柏原)、山本裕計(神戸東)、和田孫博(神戸東灘)、今田学志(神戸西神)、樋口典明(明石東)、前川忠範(加古川中央)、小西龍機(小野加東)、西山孝彦(西脇)、岡田和也(姫路西)、中村孝秀(龍野)、野澤勝憲(豊岡)、阪本渚子(宝塚ユニバース衛星)

議事録作成: 阪本渚子

次第

1. 開会挨拶 安行ガバナー

2. 国際協議会報告 矢坂ガバナーエレクト

5日間の研修内容はRLI方式の素晴らしいものであった。次年度のRIテーマは「ロータリーのマジック」。会員の皆さんが日々努力をすることによって、マジックのような素晴らしい現象がロータリーの手によって生まれてくるということ。皆さまの奉仕活動を充実したものにすることと、平和、DEIの話が中心であった。

3. 年度後半の委員会活動について意見交換 高瀬委員長

①11月4日セミナーについて

【反省点】

- ・事前アンケートに未回答のクラブが多かった。(回答43クラブ、未回答24クラブ)
→ガバナー、ガバナー補佐を通じて回答支援をお願いするのがよいのではないか。
- ・セミナー中の質疑応答とセミナー後アンケートについて、準備段階でフォームをガバナー事務所では作ってもらえなかった。ガバナー事務所で作ってもらえるようになってほしい。
- ・セミナー後アンケートの回答者は25名であったので、もう少し回答回収率を上げたい。どのタイミングで回答すればよいのかが分かりにくかったり、質疑応答については使い勝手が分かりにくかったりすることが考えられる。

- スマートフォンを使っただけの回答形式は回数を積み重ねることで慣れてくるのでは。
- ・セミナー当日まであまり時間がなかったため事前アンケートの未回答クラブへの回答催促はしていない。
- ・アンケートの目的を明確にし、数値の分析は何かを基準にしてやるべき。未回答クラブの多いグループや、クラブ会員数による影響などを分析したほうがよい。回答結果をもとにして、クラブの活性化へ持っていく方法を考えることが大切。
- 地区のその他アンケートに比べて、今回のアンケートの回答率は低い。(社会奉仕委員会のアンケートは回答率が9割程度) そのためデータの信用度は少し低い。今後は未回答のクラブへ念押ししていくことが必要。
- ・セミナー当日の各クラブからの出席率を出したほうがよい。
- ・会場を選ぶのが大変であった。今回のような形のセミナーをするならば、大学などの施設を使わせて頂くほうがよい。今回のような研修会場の場合は、設営でバタバタとしてしまった。
- 今回は大学の学園祭と日程が重なってしまったため大学を利用できなかったが、日程さえ合えば使用は可能であった。
- ・戦略委員会にもっと40代~60代の人に参加してもらい、意見を交換し委員会を活性化させることも必要。各クラブに当委員会をアピールすることに繋がる。

【よかった点】

- ・委員のクラブ体験談を聞いたことが非常に刺激になった、続きを聞かせてほしいとの参加者からの意見を頂いた。
- ・各クラブの紹介がデータもあって非常によかった。
- ・今後のセミナーの在り方を示せたのではないか。データが欲しいとの声も多くあった。
- ・一方的な押し付けではなく、実例を紹介したのちにRLI方式でディスカッションをして参加者も話すという点がよかった。参加者もセミナー中に意見を口に出すということが大切。
- ・ファシリテーターの話に感動したという意見もあった。
- ・実例を挙げてセミナーをすることはクラブの活性化に繋がると思う。
- ・セミナーに参加し、会員が学んだことをクラブに持ち帰ることで退会防止に繋がる。
- ・ロータリーが衰退しないように、何か新しいことを始めることが大切。その下準備の1つとして、戦略計画委員会があるのではないか。1つの関心をみんなで持つことで、会話が生まれ、新しいことが始まる。参加者に感激・感動をいかに与えるかを考え、ロータリーのよさを形に出来ればよい。
- ・セミナー後に自分のクラブでも何か形にすることを始めた。クラブの特徴を生かしたものを形にするのがよいのではという話が出た。話していくうちに今までの活動も、その特徴に繋がっていることに会員が気づいた。会員(特に女性)も増えて、クラブ

も今回のセミナーをきっかけに活気づいてきた。

- ・セミナー後にクラブで、ロータリーの価値を見直す必要があると話が出た。クラブに刺激を与えることが大切。
- ・クラブから3人が参加させてもらったことで、単年度制ではなく継続してやることの重要性が分かった。遅ればせながら、満足度調査から行うことにした。
- ・セミナー後に、学んだことをどうクラブで生かしていくかが重要。
- ・委員会では協議や理論的なことなど色々あるが、素朴なロータリアンがロータリーを支えているということも忘れてはいけない。

②西山委員 自己紹介

③今後に向けて

- ・2025-26年度からはRIテーマとロゴがなくなり、RIが単年度制をやめる方向に向かっている。従って地区テーマもなくなる。クラブも複数年度に備えるために会長ノミニーを早く決めることが必要となってくる。また今後は「研修、トレーニング」という言葉が「ラーニング」に変更される。PETS、地区研修協議会の名前も変更予定。戦略計画委員会もそれを見越して提言をしていく必要がある。
- ・行動計画の数値目標の検証を行うのはどうか。

4. 今後の委員会開催日日程と議題について

永瀬幹事

2024年2月16日(金) 16:00～

5. 次回から白井GNDに参加要請予定

今回は参加が叶わなかったが、次回の委員会からは白井GNDにも参加を要請する。

6. その他

今年度のPETSやSETSに委員会から出前卓話をお願いしたいと考えている。声がかかったら、どなたかぜひご出席お願いします。

7. 閉会挨拶

山口次期代表幹事